

金魚 マンホールのふたに

長洲町 産地PRへ大学生デザイン

長洲町は5日、マンホールのふたにに施す金魚のデザインを発表した。全国有数の金魚の産地をPRしよう

と、昨年の短編漫画賞「熊本城まんがコンテスト」でグランプリを受賞した町在住の崇城大芸術学部3年、



徳永さん（左）と金魚をデザインした作品を披露する中逸町長

徳永浩太郎さん(20)にデザインを依頼していた。

徳永さんによると、青い水と白い泡立ちを背景に、赤と黒の金魚各2匹が円を描くように泳ぐ様子を表現したという。遊び心で縁の四隅に4匹の小さな白い金魚も配置した。「丸い水槽の中を金魚が泳ぐ時のゆらめきと美しさを表した。金魚の町をアピールできたらうれしい」と話す。

徳永さんに感謝状を贈った中逸博光町長は「漫画には人を集める力があり、これからも能力を発揮してほしい」と激励した。金魚のマンホールふたは今月中に役場近くの交差点の歩道に設置される。

(宮上良二)